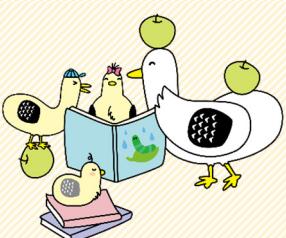
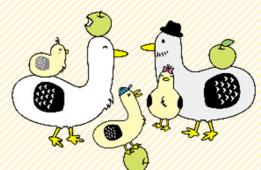




## こども誰でも通園制度

# 説明資料（保育課）

令和7年11月19日（水）



# ■ こども誰でも通園制度について①

## 【こども誰でも通園制度の目的】

全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる乳児等通園支援事業（「こども誰でも通園制度」）を創設。



対象となるこども 松戸市に住民登録のある生後6か月から満3歳未満のこども

利用可能時間 平日 9:00~16:00 (一部の施設を除く)

こども一人あたり月10時間

利用料金 1時間 300円 ※別途給食費を徴収



# ■ こども誰でも通園制度について②

## 【こども誰でも通園制度の意義】

### こども の成長の観点からの意義



- ▶家庭とは異なる経験や、地域に初めて出て行って家族以外の人と関わる機会が得られる。
- ▶同じ年頃のこども同士が触れ合いながら、家庭だけでは得られない様々な経験を通じて、ものや人への興味や関心が広がり、成長していくことができる。

### 保護者 にとっての意義



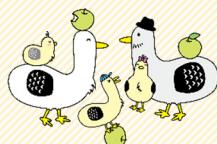
- ▶専門的な知識や技術を持つ人との関わりにより、ほっとできたり、孤立感、不安感の解消につながる。
- ▶様々な情報や人とのつながりが広がり、保護者が子育てにおいて社会的資源を活用することにもつながる。



### 保育者 にとっての意義

- ▶これまで接する機会の少なかったこどもや家庭と関わることで、保育者として有する専門性を地域のこどもの育ちのためにより広く発揮できる。

### 事業者 にとっての意義



- ▶地域の様々な関係者との連携が新たに生まれたり、関係が深化したりするなど、地域社会との関係が広がり、地域のこどもと子育て家庭を支援する社会資源として地域社会において頼られる存在となる。

# ■ こども誰でも通園制度の本格実施を見据えた事業

## ：松戸市の実施概要

(事業開始：令和6年4月より)

### 利用状況（令和6年度）

- 実利用延べ人数 2,277名  
保育所別 公立1,913名、民間364名
- 1か月の平均利用時間 7.00時間

### □ 月別利用者数

R 6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
公立	27	134	142	178	148	146	185	188	195	180	204	186	1913
民間	—	—	—	32	30	31	60	44	41	42	44	40	364
計	27	134	142	210	178	177	245	232	236	222	248	226	2277

### 実施状況（令和7年7月現在）

①公立保育所(6施設)				②民間保育園等(小規模8、保育園1、認定こども園1)				③幼稚園(4施設)			
保育所	実施形態	定員	開始時期	保育園	実施形態	定員	開始時期	保育園	実施形態	定員	開始時期
六実保育所	一般型(合同)	10名	R6.4.1～	野菊野こども園松戸ST	一般型	2名	R6.7.1～	新松戸幼稚園	一般型(専用)	15名	R7.5.9～
松ヶ丘保育所	一般型(専用)	10名	R6.4.1～	ケヤキッズスマイルルーム	余裕活用型	定員空分	R6.7.1～	第二かきのき幼稚園	一般型(専用)	6名	R7.5.30～
新松戸南部保育所	一般型(専用)	10名	R6.4.1～	みつばしルーム松戸駅東口	一般型(専用)	2名	R7.7.1～	いわさき幼稚園	一般型(専用)	6名	R7.6.30～
コアラ保育所	一般型(専用)	10名	R7.7.1～	みつばしルーム北松戸	一般型(専用)	2名	R7.7.1～	いわさき第二幼稚園	一般型(専用)	6名	R7.7.1～
牧の原保育所	一般型(専用)	10名	R7.7.1～	野菊野こども園	一般型(専用)	2名	R7.7.1～				
20世紀ヶ丘保育所	余裕活用型	定員空分	R7.7.1～	ケヤキッズバビールーム	余裕活用型	定員空分	R7.7.1～				
				保育園おとぎの城	余裕活用型	定員空分	R7.7.1～				
				八柱ステーションルーム	余裕活用型	定員空分	R7.7.1～				
				へいわかしの木保育室	余裕活用型	定員空分	R7.7.1～				
				こうぜん保育園	一般型(専用)	2名	R7.7.1～				

### 今後の課題

#### 医療的ケア児・障害児の受け入れについて

⇒ 保育施設のみならず、多様な類型の事業所での受け入れ拡大や役割分担など整理する必要がある

